道路行政について

葛山繁隆　議員

問　幼稚園や保育園が近くにある見通しの悪い市道４５１７号線、４５０７号線、４５１４号線の交差点付近の道路の安全対策を伺います。

答　これまでに、注意喚起看板や路面標示、グリーンベルト、また道路に、舗装の色や表面の素材を一部だけ変え、でこぼこがあるように見せかけたイメージハンプやカーブミラーなどの設置を行ってきました。

問　昨今の報道に鑑みて、より一層の歩行者保護が必要と考えますが、今後の新たな安全対策の必要性について市の認識を伺います。

答　当該交差点は、引き続き安全対策が必要な交差点であると認識しています。今後も現状の道路の中で対応可能な安全対策について警察などとも協議して検討していきます。

大規模災害時の対応について

泉川洋二　議員

問　地区の実情に合った実践的な内容を定める地区防災計画の整備は、これからの防災として非常に大切なことかと思いますが、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答　各地区の避難所運営委員会、避難行動要支援者制度との調整、各団体のレベルや地区の特性に応じた課題の整理など、地区防災計画策定に係る支援に努めていきます。

問　市のホームページや広報などを通じて、継続的に市民の防災知識を高めていく必要があると思いますが、取り組みについて伺います。

答　災害に関する知識の普及と防災意識の高揚を図るため、広報やホームページなどに防災基礎知識や防災一口メモなどを継続的に掲載するなど、機会を捉えて啓発していきます。

大型輸送機「オスプレイ」の海上自衛隊下総航空基地配備について

佐竹知之　議員

問　下総航空基地の滑走路を空挺団や他の部隊などに貸し出すことはあるのか伺います。

答　毎年1月の降下訓練始めなど、習志野駐屯地の空挺降下訓練のために下総航空基地を使用することがあります。

問　オスプレイの訓練のため下総航空基地を使いたいとの申し入れがあった場合は、断じて認めないでいただきたいと考えますが、市の考え、決意について伺います。

答　本市としては、良好な生活環境の維持を基本に考えています。現在海上自衛隊として、オスプレイの運用の予定がない旨、回答を得ており、引き続き自衛隊側に確認するなど、情報の収集に努めます。

北千葉道路の整備促進について

芝田裕美　議員

問　北千葉道路と交差する道路はどの位あるのか伺います。

答　松戸市行政境から、都市計画道路船橋・我孫子バイパス線との間で交差する道路は15路線です。そのうち新たに計画される交差点は4カ所で他の道路は副道に接続し、一般部に合流してから4カ所の交差点等を経由し、北千葉道路を横断することとなります。市民の皆様へは丁寧にご説明し、ご理解いただけるよう事業化に向けて進めていきます。

問　事業着手までどの程度の期間を見込まれているのか伺います。

答　千葉県によると、現時点で示すことは難しいとのことです。なお、すでに事業化されている印旛から成田間の環境アセスメントの手続に要した事例では、手続着手となる環境影響評価方法書の公告縦覧から環境影響評価書の公告縦覧まで概ね3年5カ月要しています。

北千葉道路 －全線開通に向けて－

ICT教育への取り組みについて

徳野　涼　議員

問　ICT教育に係る機器の整備状況について伺います。

答　各小中学校にデスクトップのパソコンを40台、タブレット型端末を42台、特別支援学級用としてタブレット型端末を11台ずつ整備しています。

問　ICT教育へ取り組むに当たり、クラス間で利用状況に差異がないか把握することが必要だと思いますが、見解を伺います。

答　クラス間で差異が生じることのないよう、学習の年間計画の中にできるだけ位置づけて把握できるようにします。

問　国の方針では、3クラスに1クラス分程度のICT機器の整備が求められていますが、今後の整備について伺います。

答　多額の経費となるため、財政状況を考慮しつつ、他市の状況なども調査し、国の動向も注視していきます。

子育て支援について

後関俊一　議員

問　出産前の支援について伺います。

答　保健師等の面接により、母子健康手帳を交付し、健康状態や支援ニーズ等の状況を確認し、子育てガイドブックを用いて、支援プランを作成しながら相談に応じています。

問　出産後の支援について伺います。

答　保健師等が面接し、相談対応等をしています。親子で参加でき、子育て中の不安や悩みの解消、仲間づくりなどを目的とした事業を各地区の児童センター等で行っています。

問　児童センターの活用について伺います。

答　親子の交流を図り、情報交換や子育て相談ができるつどいの広場や新米ママサロンを実施しているほか、気分転換や育児の疲れを解消し、楽しみながら子育てができる事業を実施しています。また、東部地区には、子育て支援のさらなる充実を図るため、児童センターを設置する計画です。

「福太郎スタジアム（陸上競技場）」及び「福太郎アリーナ（体育館）」の改修工事と今後の展望について

富田信恵　議員

問　福太郎スタジアムの外周について、市民が夜間も安心して利用できるように、街灯を設置していただきたいと考えますが、見解を伺います。

答　現在街灯は設置していませんが、利用者の安全確保も考慮し、今後全体の整備計画の中で調査・検討します。

問　福太郎アリーナのバリアフリー対応について、現状と今後の予定を伺います。

答　現在、福太郎アリーナでは、車椅子の昇降用リフトを整備していますが、体育館の構造上の問題から車椅子用観覧席は整備できなかったため、アリーナフロアでの観戦に限られています。設備の老朽化も目立つことから、市有建築物長寿命化計画を踏まえるとともに、財政状況を考慮し、次期総合基本計画において観覧席の改修についても研究していきます。

家族介護者への支援の取り組みについて

松澤武人　議員

問　家族介護者への支援の取り組みについて伺います。

答　大きく3つの取り組みを行っています。1つ目は、介護者の交流とリフレッシュを目的とした介護者のつどいを月に1回開催しているほか、地域包括支援センターによる介護者教室を年に2回から3回実施しています。2つ目は、在宅介護等に関する相談を市の窓口と各地域包括支援センターの計4カ所で随時行っています。3つ目は、介護保険の要介護認定を受けている場合、家族が介護に疲れたときなどに施設のショートステイを利用することが可能となっています。

東武線高架下の歩行者通路の活用について

勝又勝　議員

問　東武線高架下の歩行者専用通路を鎌ケ谷高校付近まで延伸させることについての課題を伺います。

答　市道24号線を横断しなければならないため、横断歩道や信号機の設置、さらに道路の見通しの改善や待機スペースの確保など、東武鉄道や警察等の関係機関と協議を行うなどの課題があり、それらを慎重に検討する必要があると考えます。

問　鎌ケ谷高校までの歩行者専用通路の整備について市の見解を伺います。

答　東武線の高架下を利用した鎌ケ谷高校までの歩行者専用道路の整備は、沿線や地域にお住まいの皆様や鎌ケ谷高校に通学している学生の利便性向上に効果があるものと考えていますが、整備にはさまざまな課題があるものと認識しています。今後は、周辺の道路状況や宅地化による人口情勢も含め、引き続き調査検討していきます。

児童虐待の実態と今後の改善策について

津久井清氏　議員

問　最近の児童虐待の相談件数の推移について伺います。

答　全国の相談件数は、平成25年度は7万3千802件、平成29年度は13万3千778件と増加しています。鎌ケ谷市の実相談件数も平成25年度は117件、平成29年度は192件と増加しているのが実態です。

問　担当職員の増員と職員の能力向上のためには継続した在職年数が必要ではないかと考えますがいかがですか。

答　平成28年度と平成30年度に社会福祉士を各々1名、平成31年度には、心理発達相談員を1名増員しました。また、在職年数については、ある程度の期間を確保する必要性が高いと認識しています。

問　平成30年度鎌ケ谷市市民意識調査では、近所で児童虐待を見つけたとき、警察等に通報できるが54・5％です。これをどのように考えますか。

答　児童虐待の早期発見、早期対応のためには、市民の皆様のご協力が非常に重要であると認識しています。

みんなの議会、傍聴しませんか

議会では、みなさんの生活に直結した重要な問題が審議されており、その様子を傍聴できます。

本会議の傍聴席は先着順に46席あり、R階の傍聴席入口で氏名・住所・年齢を記入していただきます。

常任委員会の傍聴席も先着順に10席あり、傍聴手続きは6階の議会事務局で行います。

なお、小学生以下のお子様が傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。